

BLAX FACT

X1R+4x4R

by Frank Moranval (R&D RACER)
+ Chary Mesmer (CHIEF DESIGNER)

Photography: TAKI/illustration: K. Nanamiya
report: TOKO

スノーボーディングにおける理想は、ソールと脳が、ダイレクトに繋がっているような状態だ——Frank Moranval

CANTING SYSTEM



4-POSITION CANTING
①乗り手の体格、スタンス、滑りに合わせ緻密にアジャストできる4ステップの前傾。さらに後方ロック、前方フリー、サイドカントを加え、極めてフレキシブルに調整できる。



FORWARD LOCK BACKWARD LOCK
①上下レバーとも閉じると、前方・後方ともロックされ、より強いエッジグリップを得る。なお、前傾角度は4ステップ。

SIDE CANT
①ブーツに付属する6角レンチを使用し、スネの角度に合わせてサイドカントをアジャストできる。調整はワンタッチ、ガタつきなし。



FORWARD FREE BACKWARD LOCK
①上レバーを閉じ、下レバーを解放すると、前傾フリー、後方ロックとなる。深雪、パウダーでのラン、あるいはハードなスラロームでの後足に。なお、このポジションは4ステップ全てに設定可能。



WALKING POSITION
①上レバーを解放、下レバーを閉じると、前後ともフリーのウォーキング・モードになる。



not from SKI-BOOTS not from MOUNTAIN BOOTS
X1R
(ブーツ)

そのブーツの開発者は、ある夜、夢をみた。——ステープでところどころ岩が露出したやばいシュートをクルージングダウンしていた、なんでこんなにリスクなスノーボーディングをやっているのに、こんなに気持ちがいいのだろうと不思議なココロもち、気づくと彼は素足で、足の裏がボードに直接マウントされていて、すべてがフレックスで、すべてがライト……。夢の中の自分がリアルなのか、目を覚まして自分がリアルなのか、という文学的命題は措いておくとして、現実にはちょっと面倒な現実的対応を要求するから、彼はそれを現実化するために、悩んだとさ——。

スノーボードのハードギアのなかで、ブーツがいちばん、量産工業製品として未熟なものなのです、とチャーリー・メスマーは言う。

「だって厳密な意味で、これまで“スノーボード”ブーツはなかったんですよ、BLAX以前のスノーボード・ブーツは、アルパイン・スキーブーツか、山スキーブーツのモールドを使っていて、つまり転用であり、妥協なんです、BLAXは私なりの、世界で初めての“SNOWBOARDING”ブーツなんです」スノーボード・ブーツは前後左右、3次元的なフレックスを要求する（分かるね）とは言い、フレックス、は難しい。単に、フレキシブルなだけであればよくやくにやして、ボードのエッジをして雪面をグリップさせるパワーはない。ふたたび、チャーリーの発言。

「裸足に近いレスポンスを得るためにブーツ丈を短くして——端的に言うとスキーブーツとテニスシューズの違いだね——、更にOVERLAP-CONSTRUCTION、オーバーラップ構造を採用したんだよ、通常のスノーボード・ブーツはタンを臍に押し付けることによって密着性を得るよね、でもそれは合理的じゃない、アウターシェルが、まるで二つの手のひらで足を包みこむように“オーバーラップ”すれば、ブーツと足の密着性が高まる。BLAXのインナーにはシューレース（靴紐）がついてない、必要ないんだ」フランク・モーランバルのコメントはもっと単純だ。

「BLAXの利点はブーツのなかで足が動かないことだ」前号ECSTASYで述べた、ボードのフレックスとトーション・スティフネスの両立と同様、ブーツも、相反するスティフネス（足をしっかりサポートすること）とフレックス（その上で柔軟であること）の両立が必要だ。BLAXはオーバーラップによりスティフネスを得、短いブーツ丈とシェル・プラスチックの素材、カットオフなどによりフレックスを得ている。でも、それで充分、ではない。レスポンスである。透視図を見てほしい。BLAXブーツとバインディングにおいては、足の裏がボードのデッキと極めて近い面上に位置している。シェルのボトム深くまでインナーがインサートされ、薄く堅いソールを介してバインディングにロックされることにより、素足に近い感覚でボードからの情報を得、コントロールできる。

ある種のハードブーツに見られる高いヒールと柔らかいビブラムソールに換れば、その伝達が遅れ、曖昧になる。「高速でエッジトゥエッジを繰り返すスラロームにおいては、ボードのソールと脳が直接つながっているような状態が理想だ」レース中、フランクはBLAXの存在を忘れていたのである。



BACK SUPPORT SHELL
①内蔵された二つのレバーにより、ふくらみすぎに合わせ、シェルの開口を左右非対称に調節。ブーツとの一体感をさらに高める。

DECK DIRECT
①ブーツの底近くに足の裏が位置し、ヒールが低く、ノンスリップラバーが堅いため、素足がデッキに直接マウントされたようなリニアなレスポンスが得られる。

CENTRAL DISC
①4x4インサートとのジョイント部。スタンス調整幅は前後3cmで、長穴がオフセットされているため、ディスクを180度回転させると4cmの調整が可能になる。回転方向へは3度毎にクリックがつき、無論360度セッティング可能。ダイレクト・タッピング用4穴も穿孔済み。

3D CANT PLATE
①前足3度、後足7度、ヒールアップ5mmのカンティング・プレートが標準で付属。もちろんオプションも用意されている。

FLOATING RUBBER
①ベースプレート前後端に計6つのフローティングラバーを設けることにより、プレート全面がデッキにマウントされるという理想に近づき、ヒール/トゥターン時に、トゥ/ヒール部プレートの浮きを防ぎ、同時にダンパーとしても機能。レスポンスを大幅に向上させている。

HARD "MOUNT" BINDING 4x4R



INNER BOOTS
①本革を使い、履きやすく、足馴染みが良い質実で柔軟なアッパー。前傾ストレスを減少させる足首のVカット。保温性と防水性に優れたネオプレン製フット。足全体をしっかりとサポートし、足型の崩れやヘタリを防ぐサイドリブのケブラー補強。シェイプは無論、スノーボーディングという運動とヒトの足に関する解剖学的見地からR&Dを尽くしたものです。

POWER STRAP
①スネによるプレッシャーをダイレクトにシェルに伝え、強いエッジプレッシャーを与える。

POWER BUCKLE
①4本目のアッパーバックルはワンタッチでテンションをリリースし、リフトや休憩のとき瞬時に足への圧を解放する。

OVERLAP SHELL
①タンを臍に押し付けるのではなく、シェルをオーバーラップすることにより、バックルのテンションによって足を包みこむように支持する。ゼロから、純粋にスノーボード・ブーツとして開発されたBLAXが世界で初めて実現した構造であり思想である。

SHELL REDUCTION
①ブーツと足の密着性を高めるオーバーラップシェルによってSTIFFNESSを実現すると同時に、シェルの素材やカットオフにより、柔軟さ=FLEXを与えている。

MYCRO ADJUSTER
①堅牢・軽量のアルミ製レーシングバックルにネジ式のマイクロ・アジャスターを内蔵。緻密なテンション調整を実現。

DOUBLE-LOCK TOE CLIP
①2深度のダブルロック機構をもつ大型のクリップを採用。ゲートへのヒットなどによる不意のリリースを防ぐ。

ABS BASE PLATE
①ブーツによるプレッシャーをダイレクトにデッキに伝える。軽く、剛性の高いABS樹脂製ベースプレート。

ゼロからスノーボーディング・ブーツを設計した。その回答のひとつがオーバーラップ構造だった——Chary Mesmer

無 論BLAXのバインディングは、他のハードブーツにもマッチングするが、4x4RはX1Rとのシステムで開発された。前後全周のスタンス微調整を可能にする4x4セントラルディスクやカンティング、トゥバックルのダブルロックなどの基本機構はむしろ、4x4Rが他と一線を画しているのは、軽く堅牢なABS樹脂を使

用したベースプレートと、その前後を6ピースのゴムブッシュで支えるFLOATING RUBBER SYSTEMである。多くのバインディングはセンターあるいは両端のビスだけでボードにマウントされる（※ツーピース・バインディングの場合）。つまりバインディングの両端、センターはフリーの状態、センターマウントの場合はヒール/トゥに強いプレッシャーを与えると、トゥ/ヒール部のプレートが浮き、両端マウントでは、ボードが揺れおそれがある。4x4Rにおいてはセントラルディスクの4穴と、前後後端3つつのFLOATING RUBBERの、計10の支点により、それ自体極めて剛いベースプレートとボードが緊結されるため、うえのような危惧はない。さらにFLOATING RUBBERはダンパーの用も果たし、ボードが受けた衝撃を吸収してバインディングに伝える。

BLAX SNOWBOARDING BOOTS/BINDING についてのお問い合わせは——
タスカー販売株式会社
〒156 東京都世田谷区松原1-20-5キタス1102
TEL:03-5376-0281/ FAX:03-5376-0282

